

2月休館日

4日(日)	11日(日・祝)	12日(月・振)	18日(日)
19日(月)	23日(金・祝)	25日(日)	26日(月)

1月の学びの様子、紹介します ~参加者の声~

1月24日 第16回初任者研修

本年度の初任研もあと1回!

・「いじめ・不登校等への対応」については、相談してくれた相手の思いを受け止め、困っている生徒を助けたいという思いで動くことが、相手に伝わる言葉や行動になると学びました。正直、保護者対応については不安ばかりです。しかし、今回の講義・演習から、初動で大切なことや、自分のできる事・できない事を理解して組織で動くことの重要性を学ぶことができました。



1月30日 第4回特別支援協力員研修



・今日は日頃支援をしている中で、協力員のみなさんが困っていることや相談したいことを話し合うことができました。その中で、障害に応じた具体的な対応の仕方や体験談も直接聞くことができたので、とても有意義な研修会でした。
・小学校の低学年に支援してもらった経験で大人になったときの苦しさが減る、という内容のスクールカウンセラーの先生の言葉が心に残りました。子どもたちを支援していくという仕事をしていく上で、「人を信じようと思う気持ち、他者を頼る気持ちを育てる」ことをいつも意識していきたいです。

1月30日 第12回現職教育研究主任研修



・本研修で他校の実践を聞いて、現職教育研究主任の仕事は「工夫しようと思えば、とことん工夫できる」と感じました。私たちは子どもたちのためにより質の高い教育を提供していく必要があり、それこそが教員最大の使命と考えます。そのために、研究主任として職員内の研究内容への意識が高まるように、今後も工夫して取り組んでいきたいです。
・本年度の成果と課題を来年度の取組に生かす方法を教えていただき参考になりました。学校の強みや弱みを知ることで、その学校ならではの現職教育が行えると思いました。



小中学校教科基礎講座



<教科基礎講座/英語 第5回>1月19日

・授業で使えるアイデアを体験型で教えていただいたので、とても分かりやすく取り入れやすいと感じました。
・あるテーマに沿って自分の考えを英語で表現するなど、教師の英語力向上にも有効な研修内容だと感じました。
・やはり英語の学習は、チャンツや歌、体を動かすことで苦手意識をなくしながら楽しく取り組むものだと思います。



<教科基礎講座/小学校音楽>1月30日

・リズムパターンを組み合わせたり、掛け声を入れたりして、グループで協力して創作活動をする手立てを学ぶことができました。
・デジタル教科書の活用方法について知ることができました。メトロノーム、リコーダー運指表、タイマーなど、すぐに活用できそうなものも紹介していただいたので、実践で活用していきたいです。



2月・3月の自主研修の予定



※の講座については、別紙のリーフレットもご参照ください！

開催日時	講座名	主な内容
2月6日(火) 第1研修室 	教科基礎講座 中学校音楽 「音楽づくり・創作の実践と評価について」	元東京学芸大学 准教授 石上 則子 先生を講師にお迎えし、「日本の音階を生かした旋律づくり」のテーマのもと、ワークショップ型の研修を行います。中学校の先生方はもちろん小学校の先生方にもお勧めです。
2月20日(火) 第1研修室 またはオンライン 【ハイブリッド研修】	※ 令和6年度に向けて On your mark! 講座 【講座1】 カリキュラムマネジメントを意識した教育活動 	中部大学 教授 深谷 圭助 先生を講師にお迎えし、さまざまな視点から「カリキュラムマネジメント」とはどのようなものかを事例を交えてお話していただきます。四・五役の先生方はもちろん、現職教育研究主任や学年主任の先生方、10年目以上の先生方にとっては、新年度のスタートにつながるお勧めの講座です。
2月28日(水) 第1研修室 またはオンライン 【ハイブリッド研修】	※ 令和6年度に向けて On your mark! 講座 【講座2】 毎日楽しく生徒指導 	オリンピック法律事務所 弁護士 竹内 千賀子 先生を講師にお迎えし、法律の視点からさまざまな事例の問題点や改善点をお話していただきます。若い先生方はもちろん、10年目以上の先生方にとっては、特にお勧めの講座です。
3月1日(金) 第1研修室 	教科基礎講座 中学校理科 「中学校理科におけるテスト作りの『いろは』を学ぶ」	至学館大学 教授 鈴木 達見 先生を講師にお迎えし、テスト作成の悩みや困りごとについてアドバイスをいただきます。本年度実施したテスト(学年や時期は問いません)を事前に教育センター担当に提出していただきます。
3月5日(火) 第1研修室 またはオンライン 【ハイブリッド研修】	※令和6年度に向けて On your mark! 講座 【講座3】 子どもたちがいきいきと活動できる授業開き 	国語授業クリエイター 元立命館小学校教諭の岩下 修 先生を講師にお迎えし、授業をよりよく展開していくための土台としての学級づくり、新年度の授業開きにスポットを当ててご講義をいただきます。若い先生方はもちろん若い先生方を指導される先生、授業の基礎を確認したいと思っている先生方にとって、特にお勧めの講座です。

センター職員おすすめの1冊

教育センターの図書室に新しい本が入りました。各教科に役立つ本や教育心理の関係の本がたくさんあります。ぜひ、教育センター図書室でお手にとってみてください。

「ウェルビーイングな学校をつくる一子どもが毎日行きたい、先生が働きたいと思える学校へ」/中島 晴美 著

教育界でも広まり始めた「ウェルビーイング」をいちはやく学校現場に取り入れ、理論に基づいて実践を進めてきた著者の学校では、2年間で「『学校が楽しい』子どもが98%、学力が伸びた子どもが増加、異動希望の教員がゼロ」などの目に見えた効果が表れています。さまざまな困難を抱える学校で、どうすれば現場から子ども・教師の「幸せ」をめざせるのか……。そのヒントをこの本から見つけられるかもしれません。



「13歳から分かる! プロフェッショナルの条件」/藤屋 伸二 監修

この本は、ドラッカーの「プロフェッショナルの条件」をベースに、成果を上げ、人生を豊かにするための方法についてわかりやすくまとめたものです。ドラッカーの言う「成果」とは、「人が人生を充実させ、本当の幸せを手に入れるために必要なもの」を表します。成果を上げるためには特別な才能が必要なのではなく、能力を身につけるために自分なりにまず実践してみることが何より大切だと本書では述べています。短い時間で読了できる分量なので、折に触れて読み直せるのも魅力です。

